

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 5 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	35	○災害対策 年2回の避難・通報・消火訓練の実施やマニュアルの作成、非常食の備蓄、火災設備(スプリンクラー、火災通報装置など)などにおいて、基準的な設備及び対策は整ってはいるものの、建物の構造上や利用者の状態などを考慮すると、夜間帯の職員1人体制では、十分な対応が難しいのではないかとこの声が御家族はじめ、職員からもあがっている。	○夜間帯の安心できる職員体制の見直し	○夜間帯の職員数を1名増加し、2名体制とする。それにより、2階、3階に居室が分かれている構造である為、いままでは、1人に対応していたものを1人は2階、もう1人は3階に振り分けて対応することにより、より迅速に対応できると考えている。また、近隣の方々の支援の手をもっと拡大するために、より多くの方々を当事業所の防災訓練に参加して頂けるよう、運営推進会議などを使い、自治会長様や民生委員様へアピールしていく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。